

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 1月22日

議 会 議 長 様

議席番号 5 番

議員氏名 北 出 恵 造

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 公共交通の 充実・改善を	<p>当町における公共交通の充実・改善は待ったなしである。昨年の12月議会において、次善の策として小川町方式のタクシー補助を例にとり、当町においてもタクシー補助の実施を提案し、その試算を求めたところ、想定とはかけ離れた試算が示された。</p> <p>その試算では、タクシー利用者が全員、補助制度を利用する前提で、利用時間を限定せず、町外への利用者も含んでいる。</p> <p>これではかけ離れた町負担分が出るのは当然である。</p> <p>利用する時間帯によって乗車率は異なるが、小川町デマンドタクシーでは、利用時間を午前8時30分から午後5時までとしているので、同様に利用時間を制限することも勘案して試算すべきだと考える。</p> <p>そこで以下伺う。</p> <p>(1) これらのことを勘案して、試算することは可能ではなかったのか。</p> <p>(2) 「杉戸町役場組織規則」の事務分掌では交通政策に関することは総合政策課となっているが、この「規則」通りに分担されていない。その理由は。</p> <p>(3) 公共交通に対する住民要望の軽視は当町のガバナンスに問題があることを示しているのではないか。</p>	<p>町長 副町長 総合政策課長 住民協働課長 担当課長</p>

1月22日 午前・午後 9時30分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 水道料金の引き上げに反対する	<p>令和8年度からの県水21%の値上げなどにより、令和9年度（2027年度）に見込まれる大幅な水道料金の引上げが上水道事業経営審議会において検討されている。</p> <p>人口減少や節水機器の普及による水需要減は料金収入減となり、施設・設備老朽化は多額の更新費用がかかり、当町の水道会計は厳しさを増していると指摘されている。</p> <p>一方、物価の高騰が止まらないもとで、町民の生活はますます厳しさを増している。こうした中での「命の水」の大幅値上げは、住民の福祉向上を目指すべき自治体の使命を投げ捨てるものと言わざるを得ない。</p> <p>そこで以下伺う。</p> <p>(1) 見込まれる改定率は。</p> <p>(2) 施設・設備の更新や耐震化は計画的に行われなければならない。そして、地方公営企業法においては水道事業の独立採算が求められている一方、憲法の生存権を前提とした水道法は「豊富低廉な水の供給」を求めている。この両者をどう両立させようとしているのか、見解は。</p> <p>(3) こうした中で、公衆衛生の向上を図る自治体の使命を果たすには、国の大胆な財政支援が求められる。町長はどのような働きかけをしてきたのか。</p>	町長 副町長 総合政策課長 上下水道課長 担当課長
3. 国民健康保険税の連続引上げは中止せよ	<p>この3月議会において来年度の国民健康保険税の条例改正が予定されている。4人家族のモデルケースで3万円を超える大幅引上げである。物価高に追い打ちをかけるものであり、子育て支援とも逆行するとんでもない連続値上げである。</p> <p>そこで以下伺う。</p> <p>(1) 4人家族のモデルケースで、2025年度と2026年度合計でいくらの値上げになるのか。</p> <p>(2) 一般会計からの繰入れなどを行い、値上げを中止すべきではないか。</p> <p>(3) 物価高の責任は国にある。国の支出割合を高めるなど、国への働き掛けはどのように行ったのか。</p>	町長 副町長 町民課長 担当課長